

午後2時00分～

会 場 全員協議会室

## 市長記者会見資料

### 市長発表資料

- 1 令和3年度（2021年度）予算（案）の概要（P1）
- 2 今、直面しているコロナ禍から市民の命と生活を守る事業（P3）
  - 資料① ワクチン接種の着実な実行と地域医療体制への支援
  - 資料② 事業者への支援
  - 資料③ ふるさと納税に寄せられた市民への思いを生活困窮者や医療従事者へ
  - 資料④ 省エネ性能が高いエアコンの購入に市独自で費用を補助
- 3 ポストコロナを見据え、今だからこそ人とまちに投資する事業（P8）
  - 資料① 子どもたちを取り巻く教育環境の充実
  - 資料② 八王子駅南口集いの拠点整備と中心市街地の整備  
中長期的展望に立った北野地区基本構想策定にも着手
  - 資料③ 八王子での新生活を応援
- 4 市民とともに「夢と希望のもてるまち」を描く事業（P14）
  - 資料① 地域づくりの推進と長期ビジョンの策定
  - 資料② 日本遺産を活かした地域活性化とMICE推進に向けた取組
- 5 デジタル社会を展望した事業（P19）
  - 資料① 行政サービスと業務のデジタル化

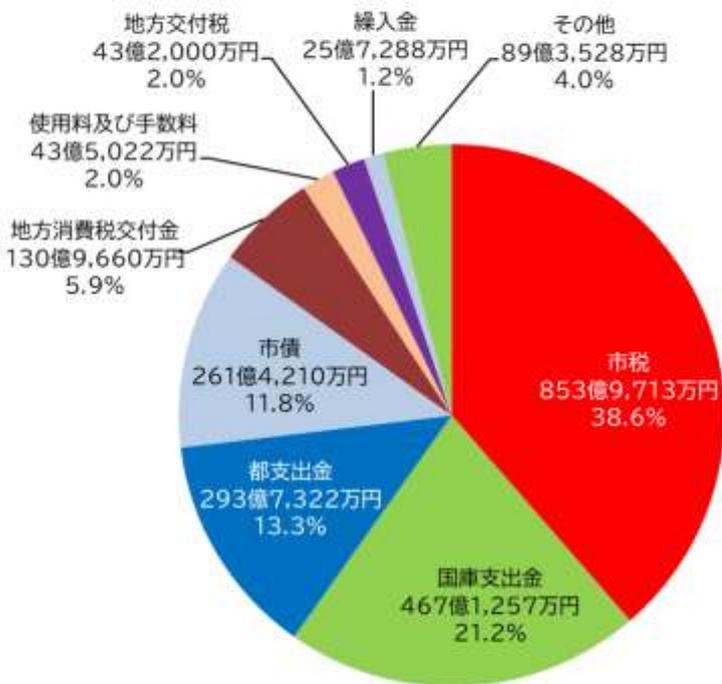
## 令和3年度（2021年度）予算（案）の概要

### 1 予算規模（予算説明資料P1）

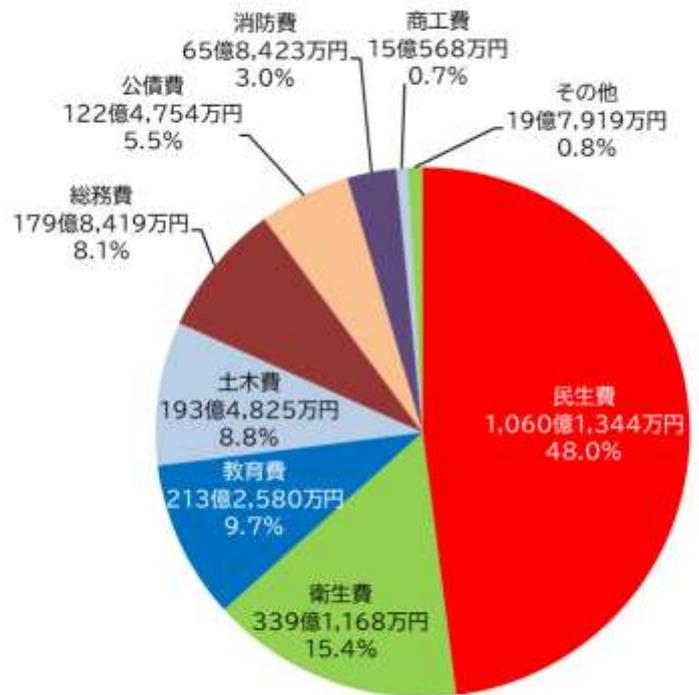
**一般会計予算規模 2,209億円（2,009億円 10.0%）**

（ ）は前年度当初予算額 増減率

歳入2,209億円  
(2,009億円)



歳出2,209億円  
(2,009億円)



**予算総額 4,400億円（4,097億円 7.4%）**

区分	令和3年度 (2021年度)	令和2年度 (2020年度)	前年度比	増減率
一般会計	2,209億円	2,009億円	200億円	10.0%
特別会計	1,968億20万円	1,841億7,205万円	126億2,815万円	6.9%
公営企業会計	222億5,830万円	245億9,377万円	△23億3,547万円	△9.5%
合計	4,399億5,850万円	4,096億6,582万円	302億9,268万円	7.4%

## 2 歳入〔一般会計〕（予算説明資料P2）

科 目	予算額	前年度比	増減率	主な増減の理由
市 税	853億 9,713万円	△ 58億 2,911万円	△6.4%	個人市民税・法人市民税・固定資産税の減など
国 庫 支 出 金	467億 1,257万円	87億 196万円	22.9%	新館清掃工場建設、八王子駅南口集いの拠点整備による増
都 支 出 金	293億 7,322万円	7億 49万円	2.4%	重層的支援体制整備事業による増
市 債	261億 4,210万円	115億 5,880万円	79.3%	新館清掃工場建設、八王子駅南口集いの拠点整備による増

## 3 歳出〔一般会計〕（予算説明資料P4）

科 目	予算額	前年度比	増減率	主な増減の理由
民 生 費	1,060億 1,344万円	29億 936万円	2.8%	障害者自立支援、高齢者在宅生活支援サービスの増
衛 生 費	339億 1,168万円	108億 9,271万円	47.3%	新館清掃工場の建設、保健所管理運営の増
商 工 費	15億 568万円	381万円	0.3%	新型コロナウイルス感染症対応中小企業者・事業者等支援の増
土 木 費	193億 4,825万円	42億 4,963万円	28.1%	八王子駅南口集いの拠点整備、川口土地区画整理の増
教 育 費	213億 2,580万円	6億 5,435万円	3.2%	給食センターの整備、甲の原体育館の管理運営の増

## 4 市債の状況（予算説明資料P6）

令和3年度（2021年度）末 現債額	令和2年度（2020年度）末 現債額（見込額）	増減
2,097億 3,540万円	1,981億 9,137万円	115億 4,403万円

＜問い合わせ＞ 財務部財政課長 小澤 電話042-620-7349

＜今、直面しているコロナ禍から市民の命と生活を守る事業＞

ワクチン接種の着実な実行と地域医療体制への支援

接種対象となる市民へのワクチン接種を着実に実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するための地域医療体制を支援し、市民の命を守るための取組を進める。

1 ワクチン接種の着実な実行

新型コロナウイルス感染症の発症・重症化予防及びまん延を防止するため、「予防接種法の臨時接種に関する特例」に基づき、新型コロナウイルスワクチンの接種を実施する。

(1) コールセンターの運営 令和2年度（2020年度）補正予算

- ア 開設期間 令和3年（2021年）3月1日開設
- イ 開設時間 午前9時～午後5時
- ウ 補正予算額 1億9,668万円

既に予備費を充当して準備に着手している主な事項 総額1億649万円（国庫支出金）

- ・ コールセンター・予約サイト運営委託料 2,090万円
- ・ クーポン券等作成封入封かん委託料 8,257万円

(2) 新型コロナウイルス予防接種

- ア 対象者 接種対象となる全市民
- イ 接種回数 2回（年齢問わず）
- ウ 接種場所 集団接種会場（小・中学校体育館など）・個別医療機関
- エ 接種費用 無料
- オ 予約方法 クーポン券受領後、予約システムを使って接種場所を予約
- カ 新年度予算額 18億円

2 入院受入医療機関への緊急支援 令和2年度（2020年度）補正予算

市内における新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ病床の更なる確保を図るため、患者の受入病床を割り当てられた医療機関に対して補助を行う。

- ア 補助内容 1床あたり225万円を補助  
1月以降に新たに受け入れを開始した病院については2,000万円を加算する。
- イ 補正予算額 4億7,000万円

### 3 自宅療養者支援 令和2年度(2020年度)補正予算

新型コロナウイルス感染症に感染し、自宅で療養されている方について、パルスオキシメーターを貸し出すことで、容態の変化を早期に把握するとともに、患者を診察した際の診察謝礼と病院への移送料を計上し、適切な医療を受けられる体制を整備する。

補正予算額 5,050万円

### 4 集団感染が発生した施設への専門家派遣と感染症対策指導

令和2年度(2020年度)補正予算

新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した施設等に対して専門家を派遣する。

補正予算額 250万円

### 5 地域医療の体制整備

新型コロナウイルス感染症に感染疑いのある市民が適切な医療を受けられるようにするため、引き続きPCR外来を運営し、診療・検査体制を確保する。また、医療機関や高齢者施設等を対象としたウェブセミナーや現場研修を継続し、感染拡大の防止と転院・退院を支援する。

#### (1) PCR外来の運営

ア 開設期間 令和3年(2021年)4～6月 週3回  
(月・水・金(祝日を除く))

イ 受診方法 かかりつけ医など市内医療機関を受診し、検査が必要と判断した場合に、PCR外来を紹介する。(完全予約制)

ウ 新年度予算額 898万円

#### (2) ウェブセミナー等開催

新年度予算額 1,000万円

### 6 1歳未満の子どもを養育する家庭へ本市独自の支援金を給付

令和2年度(2020年度)補正予算

新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を要する厳しい環境の下で、不安を抱えながら出産と子育てを行っている1歳未満の子どもを養育する家庭に対し、本市独自の乳児家庭支援金を給付する。

(1) 給付対象者 令和2年(2020年)6月1日から令和3年(2021年)3月31日までに生まれた子どもを養育する家庭。

(2) 給付額 子ども一人あたり5万円

(3) 補正予算額 1億4,600万円

#### <問い合わせ>

1について 健康部新型コロナウイルスワクチン接種体制確保担当課長 武井  
電話042-645-5111

2～5について 医療保険部地域医療体制整備担当課長 菅野 電話042-620-7473

6について 医療保険部大横保健福祉センター館長 鳥越 電話042-625-9129

## <今、直面しているコロナ禍から市民の命と生活を守る事業>

### 事業者への支援

新型コロナウイルス感染症による影響を受けた市内中小企業等を対象に、売上アップにつなげるための個別相談会や新たなビジネスモデルの創出に向けた新分野への展開のためのワークショップ等を開催する。また、設備の維持経費にかかる費用の一部を補助することで、中小企業の経営力の早期回復と強化を図る。

このほか、地域経済の活性化のために、道路や橋りょう等の整備計画を前倒しして進める。

#### 1 中小企業者売上等向上支援

##### (1) 売上アップ支援事業

ア 内 容 全国で実績を上げているアドバイザーなどによる個別相談会及びセミナーを開催

イ 新年度予算額 500万円

##### (2) 新分野展開促進事業

ア 内 容 中小企業等の連携を通じた先端技術の活用による新たなビジネスモデルの創出と地域経済の多様化促進につなげるため、ワークショップ等を開催

イ 新年度予算額 500万円

#### 2 中小企業事業継続支援補助金

中小企業が所有する設備にかかる修繕費などの費用を補助する。

(1) 補助対象 設備の修繕、法定点検等に係る経費

(2) 補助上限額 設備修繕等100万円、法定点検等50万円

(3) 補助率 1/2

#### 3 道路整備による地域経済活性化

新型コロナウイルス感染症経済対策として、令和3年度に計画していた道路整備とは別に、後年度に計画していた道路整備を前倒して実施することで、市内業者の工事受注の機会を確保し、地域経済の活性化を図る。

##### (1) 道路整備の内容

ア 道路の舗装等 27路線 新年度予算額 9億3,610万円

イ 橋りょうの補強 12橋 新年度予算額 1億6,710万円

(2) 経済波及効果額 20億2,600万円（総務省の簡易計算ツールによる試算額）

#### <問い合わせ>

1及び2について 産業振興部企業支援課長 南部 電話042-620-7379

3について 道路交通部建設課長 吉岡 電話042-620-7482

＜今、直面しているコロナ禍から市民の命と生活を守る事業＞

ふるさと納税に寄せられた市民への思いを生活困窮世帯や医療従事者へ

「ふるさと納税」の新たな使い道として、昨年6月にメニューに加えた「八王子市新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金」を活用して、市内のフードバンク3団体を通じて生活困窮世帯に食糧支援を行うとともに、最前線で市民の命を守る医療活動を行っている医療従事者に向けて、市民からの感謝のメッセージと八王子ゆかりの品を送付する。

1 フードバンク団体への支援 令和2年度(2020年度)補正予算

市内で活動しているフードバンク3団体を対象に食料購入費を補助する。

フードバンクとは、食品を企業や一般家庭から寄付・寄贈してもらい、支援を必要とされている方や施設に無償で届ける活動

(1) 対象団体 (八王子食堂ネットワークに参加するフードバンク団体)

ア 特定非営利活動法人 フードバンク八王子えがお

イ 一般社団法人 フードバンク八王子

ウ 特定非営利活動法人 フードバンクTAMA

(2) 対象経費 支援活動に要する食品購入費

(3) 補助上限額 1団体・月額12万円

(4) 補助対象期間 令和3年(2021年)4月～9月

(5) 補正予算額 216万円(全額寄附金を充当)

2 医療従事者に送る「八王子エール便」 令和2年度(2020年度)補正予算

医療従事者への感謝のメッセージを市民から募り、八王子ゆかりの品とともに「八王子エール便」として送付する。

(1) 対象者 新型コロナウイルス感染症患者受入病院の医療従事者

(2) 対象人数 5,000人

(3) 内容

ア 「広報はちおうじ」にカードを折り込み、市民から手書きのメッセージを募集

イ ふるさと納税返礼品の一部をカタログにまとめ、医療従事者に送付

ウ 医療従事者へ感謝の気持ちを綴ったエールカードと希望の品を送付

(4) 補正予算額 5,668万円(寄附金の充当額 3,984万円)

＜問い合わせ＞

1について 福祉部生活自立支援課長 一杉 電話042-620-7460

2について 都市戦略部都市戦略課長 中正 電話042-620-7335

＜今、直面しているコロナ禍から市民の命と生活を守る事業＞

省エネ性能が高いエアコンの購入に市独自で費用を補助

市内における二酸化炭素排出量の削減と自宅での熱中症予防対策を図るため、省エネ性能が高いエアコンを購入した場合に、費用の一部を補助する制度を市独自に導入する。

また、子育て世帯と高齢者世帯に対しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた外出自粛により在宅時間が増加していることから、エアコン使用に伴う家計負担の軽減及び二酸化炭素排出量削減を図るため、さらに追加で購入費用を補助する。

1 省エネ家電推進事業補助金 令和2年度（2020年度）補正予算

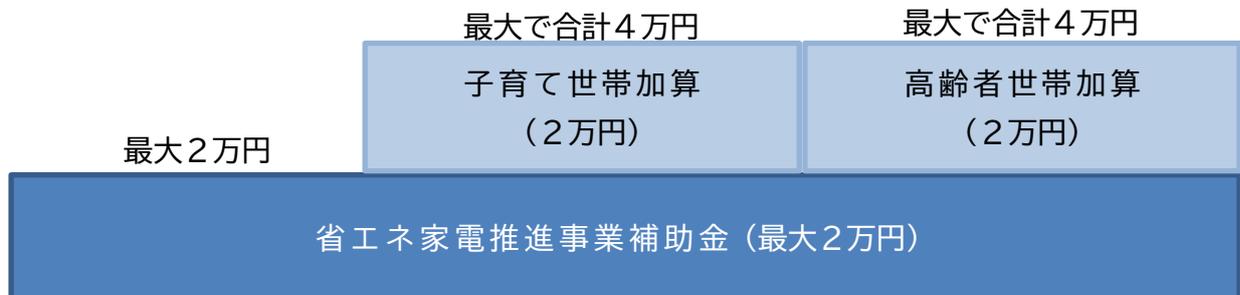
- (1) 対象機器 令和3年（2021年）3月15日から8月31日までに市内販売店で購入し、市内の自宅に設置した統一省エネラベル★4以上のエアコン（新品）
- (2) 補助金額 購入金額の4分の1（上限2万円 1世帯あたり1台まで）
- (3) 申請期間 令和3年（2021年）4月1日～9月30日
- (4) 補正予算額 1,005万円

2 子育て世帯加算（対象機器・申請期間は1と同じ） 令和2年度（2020年度）補正予算

- (1) 対象世帯 妊娠中の方及び18歳未満の子どもがいる世帯
- (2) 補助金額 2万円 1世帯あたり1台まで
- (3) 対象世帯数 100世帯
- (4) 補正予算額 200万円

3 高齢者世帯加算（対象機器・申請期間は1と同じ） 令和2年度（2020年度）補正予算

- (1) 対象世帯 65歳以上のひとり暮らし高齢者または65歳以上の高齢者のみで構成される世帯
- (2) 補助金額 2万円 1世帯あたり1台まで
- (3) 対象世帯数 100世帯
- (4) 補正予算額 200万円



＜問い合わせ＞

- |       |                  |    |                |
|-------|------------------|----|----------------|
| 1について | 環境部環境政策課長        | 中野 | 電話042-620-7384 |
| 2について | 子ども家庭部子どものしあわせ課長 | 澤田 | 電話042-620-7391 |
| 3について | 福祉部高齢者福祉課長       | 滝口 | 電話042-620-7420 |

## ＜ポストコロナを見据え、今だからこそ人とまちに投資する事業＞

### 子どもたちを取り巻く教育環境の充実

本市の将来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう、教育環境の充実を図る。ICT技術を取り入れた環境整備を行うほか、全ての中学生に温かい給食を提供するため、引き続き給食センターの整備を進めていく。

#### 1 小中学校のICT環境の整備

八王子GIGAスクール構想に基づき、令和2年度（2020年度）までに、全小中学校の児童・生徒に1人1台の学習用コンピュータを配備した。配備された学習用コンピュータを効果的に活用した授業を行うため、学校ICT支援員を増員するとともに、いつでも操作方法等の問い合わせができるよう「チャットボット」を導入するほか、動画や音声を用いた英語教育を実施するため、「指導者用デジタル教科書」を導入する。

また、経済的理由により就学が困難と認められる家庭の保護者に対しては、これまで就学援助費を支給しているが、家庭学習を実施する際に必要となる通信料の負担を軽減するための「オンライン学習通信費（12,000円/年）」を新たに加える。

(1) 新年度予算額	ア 情報教育の基盤整備	8億2,310万円
	イ 指導者用デジタル教科書購入費	1,342万円
	ウ 就学援助費（オンライン学習通信費）	6,102万円

#### (2) 問い合わせ

アについて	学校教育部教育総務課長	渡邊	電話042-620-7323
イについて	学校教育部指導課長	大日向	電話042-620-7412
ウについて	学校教育部教育支援課長	山田	電話042-620-7446

#### 2 保育所等へ「双方向通訳機」を配備

保育の現場において、外国にルーツを持つ子どもやその保護者と円滑にコミュニケーションをとれるようにし、保育士の負担を軽減するため、複数の言語を音声やテキストに翻訳できる「双方向通訳機」を保育施設等に配備する。

(1) 購入台数 153台

(2) 配備先	認可保育所	95施設
	認定こども園	11施設
	幼稚園	27施設
	小規模保育所	8施設
	事業所内保育所	7施設
	認証保育所	5施設

(3) 新年度予算額 502万円

(4) 問い合わせ 子ども家庭部保育幼稚園課長 吉森 電話042-620-7247

### 3 給食センターの整備

全ての中学生に温かい給食を提供するため、給食センターの整備を進めており、令和2年度（2020年度）までに2か所（南大沢・元八王子）の設置を完了し、給食を提供しているところである。

令和3年度（2021年度）は、3施設目として給食センター元横山の整備工事を完了し、9月から新たに中学校5校へ配食を開始する。また、4施設目となる給食センター（檜原）の建設工事に着手するほか、5施設目となる給食センター（寺田）の基本及び実施設計を行う。

(1) 新年度予算額 17億7,924万円

(2) スケジュール

区分	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
元横山	→ 9月配食開始 整備工事			
檜原	→ 実施設計	→ 整備工事	→ 二学期配食開始	
寺田	→ 基本及び実施設計		→ 整備工事	→ 配食開始

(3) 問い合わせ 学校教育部学校給食施設整備担当課長 小林 電話042-620-7483



▲ 給食センター元横山 完成イメージ

＜ポストコロナを見据え、今だからこそ人とまちに投資する事業＞

**八王子駅南口集いの拠点整備と中心市街地の整備  
中長期的展望に立った北野地区基本構想策定にも着手**

八王子駅南口集いの拠点整備をはじめ、東京都立多摩産業交流センター竣工を見据えた中心市街地の整備を着実に進める。また、北野下水処理場及び北野清掃工場の跡地の中長期的展望に立った基本構想策定に着手する。

**1 八王子駅南口集いの拠点整備**

八王子医療刑務所跡地の「集いの拠点」整備に向け、国及び東京都から用地を取得するとともに、整備運営事業者の公募に向け、事業条件の検討などを行う。また「集いの拠点」への交通アクセスを総合的に検討する。



▲位置図（子安町三丁目）



▲「集いの拠点」用地活用イメージ

(1) 事業の概要

- ア 用地取得費
- イ 事業者公募資料検討等支援業務委託料
- ウ 地質調査委託料

(2) 新年度予算額 51億6,868万円

- (3) 今後の予定 令和4年度（2022年度） 整備運営事業者の公募、選定  
令和5年度（2023年度）以降 施設設計・整備工事  
令和8年度（2026年度）以降 開設

(4) 問い合わせ

（整備全般について） 都市計画部都市総務課長 原 電話042-620-7258  
（交通アクセスについて） 都市計画部交通企画課長 山崎  
電話042-620-7303

## 2 東京都立多摩産業交流センター竣工を見据えた中心市街地の整備

令和4年（2022年）2月に完成予定の東京都立多摩産業交流センターの整備を見据え、賑わい・交流・憩いのまちの実現に向けた取組を進める。

また、同センターとの複合施設として整備する新保健所についても、供用開始に向けた準備を行う。



▲旭町・明神町地区の整備箇所

### (1) 旭町街区地区開発の推進

#### ア 事業の概要

(ア) 多摩イノベーション創出まちづくり検討等支援業務委託料

(イ) 事業化推進検討等調査委託料

イ 新年度予算額 3,315万円

ウ 問い合わせ 拠点整備部事業推進担当課長 大山 電話042-620-7393

### (2) 旭町・明神町地区内の都市基盤整備

#### ア 事業の概要

(ア) 市道八王子134号線電線共同溝詳細設計委託料

(イ) れんが通り電線共同溝設置等工事委託料

イ 新年度予算額 1億8,706万円

ウ 問い合わせ 拠点整備部市街地整備課長 渡部 電話042-620-7393

### (3) 新保健所の整備

#### ア 事業の概要

東京都への整備工事負担金

(平成30～令和3年度(2018～2021年度)継続 合計35.6億円)

イ 新年度予算額 24億4,855万円

ウ 問い合わせ 健康部健康政策課長 武井 電話042-645-5111

#### (4) 保健所跡地への広場整備

##### ア 事業の概要

(ア) 保健所施設解体設計委託料

(イ) アスベスト調査業務委託料

イ 新年度予算額 1, 109万円

ウ 問い合わせ 拠点整備部事業推進担当課長 大山 電話042-620-7393

#### (5) 八王子駅北口周辺の整備

##### ア 事業の概要

(ア) 富士見通りの整備（歩道設置、無電柱化）

(イ) 市道八王子167号線道路改良工事

(ウ) 長小路通り・富士見通り「街の灯り」整備工事

イ 新年度予算額 6, 535万円

##### ウ 問い合わせ

(ア) について 道路交通部建設課長 吉岡 電話042-620-7482

(イ) 及び (ウ) について 拠点整備部市街地整備課長 渡部 電話042-620-7393

### 3 中長期的展望に立った北野地区基本構想策定に着手

令和3年（2021年）1月に北野処理区合流区域を東京都流域下水道へ編入した。また、令和4年度（2022年度）の新館清掃工場稼働に伴い北野清掃工場が停止することから、北野下水処理場及び北野清掃工場の跡地について、「環境とエネルギー・防災の拠点」をコンセプトとする新たな活用を検討し、官民が連携した都市づくりの実現に向けた基本構想を策定する。

#### (1) 事業の概要

北野地区公共用地活用構想策定支援業務委託料（令和3・4年度継続 総事業費798万円）

(2) 新年度予算額 400万円

(3) 問い合わせ 都市計画部土地利用計画課長 中里 電話042-620-7301



▲活用構想検討範囲

＜ポストコロナを見据え、今だからこそ人とまちに投資する事業＞

八王子での新生活を応援

本市で生活する外国人留学生の生活を支援しながら、留学生の地域社会への参画を促すとともに、市民の多文化共生意識を醸成することで、地域の多文化共生の推進を図る。

また、民間企業がサテライトオフィスを設置する際の整備費の一部を補助するとともに、その民間企業の従業員に対して奨励金を支給し、本市への移住を促進する。

1 外国人留学生支援

外国人留学生の生活を支援する取組として、日本で生活するうえで必要な行政手続きなどを紹介する「留学生向けリーフレット」を作成するほか、ごみ出しの際のルールや注意事項をまとめたリーフレットとともに、「ごみ指定収集袋」を配布する取組を新たに始める。

また、留学生の地域参画を促す取組として、「日本語能力試験受験料の補助」や、事前登録した外国人留学生が、「助っ人」として地域活動の参加する「助っ人留学生制度」を新たに導入する。

(1) 新年度予算

ア 生活支援	(ア) 留学生向けリーフレット作成	48万円
	(イ) ごみ指定収集袋支給	41万円
イ 地域社会への参画促進	(ア) 日本語能力試験受験料補助	44万円
	(イ) 助っ人留学生制度謝礼	80万円

(2) 問い合わせ 市民活動推進部多文化共生推進課長 中野目 電話042-620-7437

2 サテライトオフィスの設置補助と従業員の移住促進

テレワークの定着・促進に向け、民間企業がサテライトオフィスを設置する際の整備費の一部を補助する。加えて、その補助制度と連携してサテライトオフィスを設置する民間企業の従業員に対して奨励金を支給し、本市への移住を促進する。

(1) サテライトオフィス設置補助金

ア 補助率

	市の補助率	上限額
利用料を支払い誰でも利用できるサテライトオフィス	1/6	500万円
一つの企業が単独で使用するサテライトオフィス	2/3	2,000万円

イ 新年度予算額 3,000万円

ウ 問い合わせ 産業振興部産業政策課長 丸山 042-620-7252

(2) サテライトオフィス設置に伴う移住アシスト奨励金

ア 奨励金額 1世帯あたり10万円と記念品を贈呈する

イ 新年度予算額 100万円

ウ 問い合わせ 都市戦略部都市戦略課長 中正 042-620-7335

## ＜市民とともに「夢と希望のもてるまち」を描く事業＞

### 地域づくりの推進と長期ビジョンの策定

地域ごとに魅力や課題を把握し、課題解決などのために市民や活動団体等と協働していく「地域づくり」を推進するとともに、市民や地域の声を反映した「長期ビジョン」の策定を引き続き進める。

#### 1 地域づくり推進事業

##### (1) 事業の概要

誰もが安心して住み続けたいと感じられる「活力ある魅力あふれるまち」の実現に向けて、地域の実情に即した課題解決等を図る「地域づくり」を推進する。

##### (2) 主な取組内容

- ア 「中学校区別ワークショップ」を「長期ビジョンの策定」と連携して引き続き実施し、「地域づくり」の機運の醸成を図る。
- イ モデル地区として、長房中学校区及び川口中学校区で「地域づくり推進会議」を立ち上げ、「地域別推進計画」を策定。その他の地区では、「地域づくり推進会議」の立ち上げ等を支援

※令和2年度（2020年度）の主な取組内容

- ア 中学校区を基礎単位とした各地域において、地域住民や活動団体等が参画する「中学校区別ワークショップ」を12月から開始（令和3年（2021年）6月まで実施予定）
- イ 庁内連携体制を構築するため、プロジェクトチーム「八王子地域P<sup>(A)</sup>L<sup>(L)</sup>-E<sup>(L)</sup>T<sup>(T)</sup>E」を設置

##### (3) 新年度予算額 3,956万円

#### 2 長期ビジョンの策定

##### (1) 事業の概要

2040年を展望した“ありたい姿”を市民とともに描き、実現するための「長期ビジョン（(仮称)はちおうじ未来デザイン2040）」を策定する。

##### (2) 主な取組内容

- ア 「長期ビジョン」の素案策定及びそれに対するパブリックコメント手続を実施
- イ 学識経験者や活動団体代表、各ワークショップ代表などを構成員とした「『(仮称)はちおうじ未来デザイン2040』懇談会」を開催し、意見聴取や意見交換を実施
- ウ 「中学校区別ワークショップ」を「地域づくり推進事業」と連携して引き続き実施し、将来のありたい姿とその実現に向けた課題等の意見を聴取
- エ AIによる未来予測を「長期ビジョン」策定に活用するための共同研究を実施。

※令和2年度（2020年度）の主な取組内容

- ア 「中学校区別ワークショップ」やWeb会議システムを活用した「高校生・大学生ワークショップ」、市民アンケート調査等を実施し、市民の意見を広く聴取
- イ 「長期ビジョンの策定」と「地域づくり推進事業」に向けた基礎資料として、本市の人口や財政、各行政分野の主要なデータ等を掲載した「八王子基礎データ集～はちおうじを知り、未来を描く～」を作成
- ウ 庁内連携体制を構築するため、若手職員で構成するプロジェクトチーム「八王子未来キャンパス」を設置

(3) 新年度予算額 2,210万円

<問い合わせ> 未来デザイン室 地域づくり担当主幹 野田  
長期ビジョン担当主幹 志村

電話042-620-7307

＜市民とともに「夢と希望のもてるまち」を描く事業＞

「日本遺産」を活かした地域活性化とMICE推進に向けた取組

都内唯一の「日本遺産」として認定された、本市の歴史文化の特色を物語る「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」のストーリーを通じて、歴史文化資源の保存・活用や歴史文化を活かしたまちづくり等により地域の活性化を図るため、「日本遺産『桑都物語』推進協議会」の活動に対して負担金等を支出するほか、市内外に本市の「日本遺産」の魅力を発信するための拠点となる施設の運営や、観光振興を図る取組を展開する。

また、令和4年度に開設予定の「東京都立多摩産業交流センター」を活用した、MICE誘致戦略を推進する。

1 「日本遺産『桑都物語』推進協議会」の取組

公益社団法人八王子観光コンベンション協会や八王子商工会議所など、市内の13の関係団体の代表者と、市長をはじめとする市の関係所管で構成する同協議会が取り組む事業を実施する。

(1) 主な取組内容

- ア ボランティアガイド育成研修
- イ 「日本遺産」認定記念イベント
- ウ 協議会Webサイト構築

(2) 新年度予算額 4,228万円

2 日本遺産を観光資源として活用したイベントの開催

日本遺産の構成文化財を観光資源として活用し、誘客の促進や地域経済の活性化を図るため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、「新しい生活様式」に対応したイベントを実施する。

(1) 日本遺産まち巡りイベント

- ア 事業概要 日本遺産の構成文化財をつなぎ、まちを巡るイベント
- イ 参加費 無料
- ウ 実施時期 令和3年（2021年）10月～令和4年（2022年）2月頃
- エ 新年度予算額 500万円

(2) 滝山城築城500周年記念事業

- ア 事業概要 地域団体と連携した滝山城築城500年イベントとして、記念講演会や水鉄砲合戦等を開催
- イ 新年度予算額 735万円

### 3 日本遺産の情報発信拠点となる「桑都日本遺産センター 八王子博物館」の開館

日本遺産に関する情報の発信のために、「桑都日本遺産センター 八王子博物館」をJR八王子駅南口にある商業施設内に開館し、日本遺産に関する資料を展示する。

※JR八王子駅南口の八王子医療刑務所跡地に整備する「八王子駅南口集いの拠点」内に新設する施設「歴史・郷土ミュージアム」が開館するまでの間、郷土資料館の展示機能を「桑都日本遺産センター 八王子博物館」に移転し、日本遺産及び「集いの拠点」の情報発信拠点として開設。

#### (1) オープニングセレモニー等の開催

ア 開催日時 令和3年(2021年)4月29日(祝日・木) 午前10時から

イ 会場 サザンスカイトワー八王子 東側広場(子安町4-7-1)

ウ 内容 (ア) テープカット等のセレモニー(八王子市・教育委員会主催)

(イ) ステージ・イベント(日本遺産「桑都物語」推進協議会共催)

※新型コロナウイルス感染症対策として、セレモニー参加者の限定や、マスクの着用、手指消毒などを実施

エ 新年度予算額 100万円

#### (2) 施設の管理・運営

ア 名称 桑都日本遺産センター 八王子博物館

イ 場所 サザンスカイトワー八王子3階(子安町4-7-1)

ウ 開館時間等 10時~19時(休館日 年末年始、館内整理期間(年10日以内))

エ 床面積 348.18㎡

オ 主な展示資料 日本遺産の構成文化財に関する資料

カ 新年度予算額 2,450万円



▲桑都日本遺産センター 八王子博物館のイメージ

#### 4 MICEの推進

東京都立多摩産業交流センターの令和4年度（2022年度）開設に向け、指定管理者との連携を深め、MICE受入れ時の主催者からの様々な要望に対応できるよう事業者ネットワークの充実を図るとともに、大学関係者、企業への営業活動を進める。

(1) 事業の概要 八王子観光コンベンション協会への補助金

(2) 新年度予算額 5,208万円

#### <問い合わせ>

1及び3（1）の日本遺産センターオープニングセレモニー等の内、日本遺産「桑都物語」推進協議会が主催するステージ・イベントについて

生涯学習スポーツ部日本遺産推進担当課長 平塚 電話042-620-7434

2について 産業振興部観光課長 白石 電話042-620-7378

3について 生涯学習スポーツ部文化財課長 菅野 電話042-620-7265

4について 産業振興部産業政策課長 丸山 電話042-620-7252

## ＜デジタル社会を展望した事業＞

### 行政サービスと業務のデジタル化

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐとともに、より効率的に行政サービスを提供するため、行政のデジタル化施策を推進する。市民や事業者からの問い合わせにシステムが自動で回答する「チャットボット」や、スマートフォンから本人確認及びキャッシュレス決済手続きができる「オンライン手続きシステム」を導入するほか、効率的な情報化施策を推進するためデジタル推進専門官を任用する。

#### 1 市民向けのデジタルサービスの充実

##### (1) デジタル推進専門官の任用

従来から任用しているC I O補佐官と連携しながら、行政サービスのデジタル化施策を適正かつ効率的に進め、市民サービスを充実させるために、外部有識者から新たに任用する。

新年度予算額 224万円

##### (2) チャットボットの導入

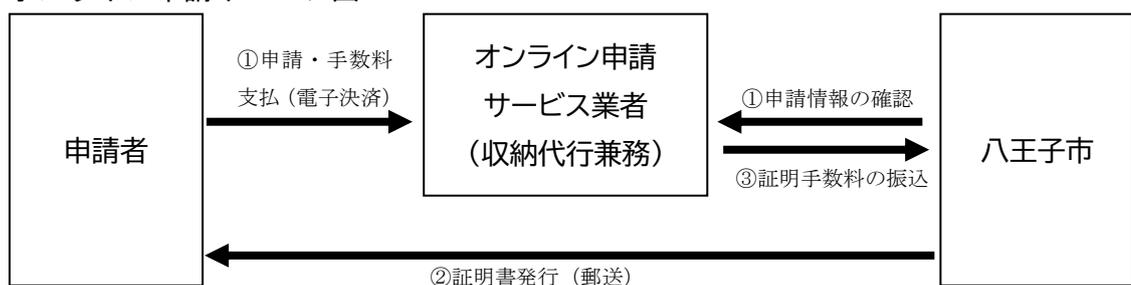
チャットボットとは、事前に登録した応答内容に基づき自動で回答するシステムである。令和2年（2020年）7月には都知事選挙について、令和3年（2021年）1月から税に関する情報について、限定的にチャットボットを導入していたところであるが、令和3年度（2021年度）からは対象を拡大して、幅広い市民サービスについてチャットボットを新たに導入する。

新年度予算額 869万円

##### (3) オンライン手続きシステムの活用

マイナンバーカードを利用してスマートフォンから本人確認を行い、キャッシュレス決済ができる「オンライン手続きシステム」を導入する。導入後は、自宅から外出することなく、オンライン手続きにより住民票の写しや税証明等の交付申請・取得ができるようになる。

##### ア オンライン申請イメージ図



イ 新年度予算額 906万円

#### (4) 諸証明のコンビニ交付

市役所や事務所へ来庁しなくても、マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストアのマルチコピー機から住民票の写しや印鑑登録証明書、課税（非課税）証明書などを取得することができる「コンビニ交付」を導入するため、証明書発行サーバの導入のほか、既存システムの必要な改修を行う。

ア 導入時期 令和3年（2021年）12月

イ 新年度予算額 1億215万円

### 2 市議会クラウド型情報共有会議システムの導入

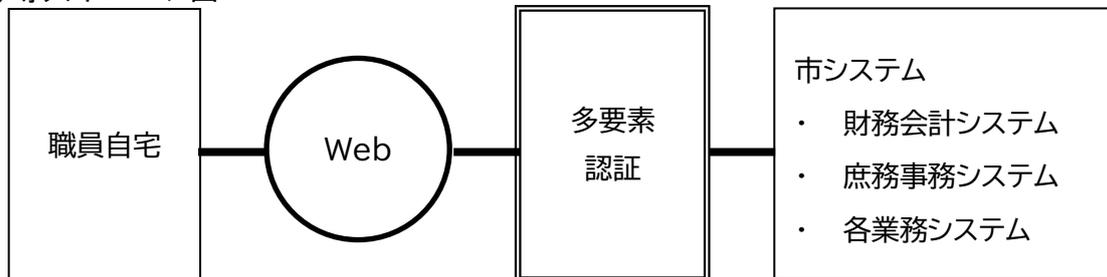
全議員で情報を共有し、資料の閲覧や検索の利便性を向上させることで議会活動を効率化するために、クラウド型情報共有ツール及びタブレット端末を導入するための経費を計上する。予算・決算等議案等のペーパーレス化を推進するとともに、システムを活用した会議運営の研究・試行を行い、順次実施していく。

新年度予算額 591万円

### 3 職員のテレワーク用端末の整備

「新しい生活様式」に対応する取組として、300台のテレワーク用行政情報端末の調達と、職員の自宅からインターネット経由で市内の行政情報ネットワークを安全に利用するために必要な環境整備を行うための経費を計上する。

#### (1) 導入イメージ図



(2) 新年度予算額 3,015万円

#### <問い合わせ>

1 (1)～(3)について 行財政改革部情報管理課長 中嶋 電話042-620-7444

1 (4)について 市民部市民課長 田島 電話042-620-7232

2について 議会事務局庶務調査課長 島林 電話042-620-7311

3 (テレワーク端末の配備及びネットワークについて)  
行財政改革部情報管理課長 中嶋 電話042-620-7444

(テレワークの実施について)

総務部労務課長 山野井 電話042-620-7451